

別紙 1. 今回の投資案件一覧

| ID/ステータス | タイトル | 製品開発パートナー | 疾患・製品 | 開発段階 | 投資額 |
|--------------|-----------------------------------|--|-----------|-----------------------|-------------|
| T2020-253/新規 | デュアル・エフェクトにより殺菌作用を発揮する新規抗結核薬の標的同定 | 藤田医科大学、公益財団法人結核予防会結核研究所、名古屋大学、北海道大学、ハーバード大学、ミネソタ大学 | 結核 治療薬 | Target Identification | ¥97,461,961 |

別紙 2. 今回の投資案件概要

T2020-253

| | |
|----------------|--|
| プロジェクト タイトル | デュアル・エフェクトにより殺菌作用を発揮する新規抗結核薬の標的同定 |
| 製品開発 パートナー | 藤田医科大学、公益財団法人結核予防会結核研究所、名古屋大学、北海道大学、ハーバード大学、ミネソタ大学 |
| 疾患 | 結核 |
| 製品 | 治療薬 |
| 開発段階 | Target Identification |
| 投資額 | ¥97,461,961 |
| ステータス | 新規案件 |
| 概要 | <p>【プロジェクトの目的】 本プロジェクトは、新規作用機序を有する結核治療薬の開発を長期目標として実施します。我々は、二つの異なる抗菌作用を同時に発揮（デュアル・エフェクト）することにより、結核菌を迅速かつ強力に殺菌できる結核治療薬の開発を目指します。我々はこれまでの研究ですでに、デュアル・エフェクトが期待できる標的候補遺伝子を多数同定しています。本プロジェクトでは、結核菌培養実験系および結核菌マウス感染実験系によって候補遺伝子の機能を解析し、候補遺伝子の中から最も創薬標的有望性が高い遺伝子を絞り込み、次の創薬ステージへと繋げます。</p> <p>【プロジェクト・デザイン】 我々は、最先端の遺伝子サイレンシング技術である CRISPR interference (CRISPRi) を用いて創薬標的候補遺伝子の遺伝子サイレンシングをおこない、結核菌培養実験系および結核菌マウス感染実験系によって候補遺伝子の機能を解析します（遺伝学的手法を用いた創薬標的有望性の評価）。創薬標的有望性が見られた標的遺伝子に関しては、我々独自のアッセイ系を用いた化合物ライブラリー（名古屋大学 ITbM 化合物ライブラリー）スクリーニングを実施し、標的的特異的に結核菌を殺菌できる化合物の同定を目指します。同定したヒット化合物は化学構造の類似性により分類し、誘導体を合成します。得られたヒット化合物およびその誘導体を用いて、化学的手法による創薬標的有望性の評価を実施します。</p> |
| プロジェクト詳細 | https://www.ghitfund.org/investment/portfoliodetail/detail/188/jp |

別紙 3. これまでの投資実績 (2021年7月15日時点)

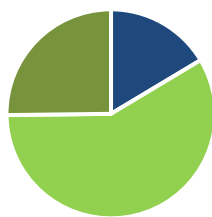
1. 累積投資

累積投資額 約 261 億円

累積投資件数 106 件 (内訳: 進行案件 57 件、終了案件 49 件)

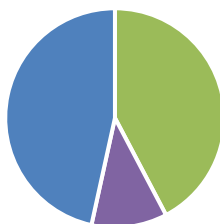
2. 累積投資内訳

開発段階



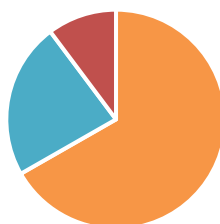
- 探索研究 ¥4,289,442,407 16.4% (58 件)
- 非臨床試験 ¥15,264,047,208 58.4% (33 件)
- 臨床試験 ¥6,583,713,558 25.2% (15 件)

疾患



- マラリア ¥11,052,661,516 42.3% (46 件)
- 結核 ¥2,916,863,580 11.2% (20 件)
- 顧みられない熱帯病 ¥12,167,678,077 46.6% (40 件)

製品



- 治療薬 ¥17,444,235,947 66.7% (69 件)
- ワクチン ¥6,019,329,759 23.0% (23 件)
- 診断薬 ¥2,673,637,467 10.2% (14 件)

詳しくは、GHIT Fund のウェブサイトをご覧ください。

投資実績: <https://www.ghitfund.org/investment/overview/jp>

ポートフォリオ: <https://www.ghitfund.org/investment/portfolio/jp>

開発状況: <https://www.ghitfund.org/investment/advancingportfolio/jp>

臨床試験: <https://www.ghitfund.org/investment/clinicalcandidates/jp>

【注意事項】

1. GHIT Fund では、製品開発案件に対して「助成」することを、「投資」と表現していません。製品開発に対して資金提供だけを行うのではなく、積極的に進捗管理に関与し、成果が見込めないプロジェクトについては直ちに中止するなど、厳格なポートフォリオ・マネジメントを行っています。一般的に用いられる、金銭的利益を目的とした「投資」とは意味合いが異なります。
2. 「継続投資」とは、過去に GHIT Fund から投資を受けている製品開発パートナーが、GHIT Fund から新たな投資を受ける際に用いることを指します。
3. 本プレスリリースの別紙 2 に記載した各プロジェクト概要は、製品開発パートナーが GHIT Fund に提出した資料から該当箇所を抜粋したものです。詳しくは、GHIT Fund のウェブサイトを御覧ください。

【グローバルヘルス技術振興基金（GHIT Fund）について】

公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金（GHIT Fund）は、日本政府（外務省、厚生労働省）、製薬企業などの民間企業、ビル&メリンダ・ゲイツ財団、ウェルカム、国連開発計画が参画する国際的な官民ファンドです。世界の最貧困層の健康を脅かすマラリア、結核、顧みられない熱帯病（NTDs）などの感染症と闘うための新薬開発への投資、ならびにポートフォリオ・マネジメントを行っています。治療薬、ワクチン、診断薬を開発するために、GHIT Fund は日本の製薬企業、大学、研究機関の製品開発への参画と、海外の機関との連携を促進しています。詳しくは、<https://www.ghitfund.org> をご覧ください。